



校長室だより

きまがせ



令和5年10月24日
野田市立木間ヶ瀬小学校
校長 松藤 有里

野田市小中学校音楽会に5・6年生が参加しました！

先週、野田ガスホールで開催された市内小中学校音楽会に、木間ヶ瀬小学校の代表として、5・6年生が参加してきました。市内音楽会は、2日間にわたって行われ、学校の規模や事情によって、参加形態は様々です。大人になるまでに、大きな会場のステージでスポットライトを浴びて発表をするという経験に、ほとんど出会うことのない可能性もあり、学校での部活動も縮小方向にある中、せっかくの機会なので、5・6年生の合唱で出演しました。音楽の授業や朝の会等、できる範囲での練習を学級で積み、音楽部の活動とも連係して、発表に向けて曲を仕上げました。そして、子どもたちは、練習の成果を発揮して、のびのびと心に響く素敵な歌声を会場に響かせてくれました。会場で聴いていましたが、子どもたちの指揮者に注目して懸命に歌う姿に感動しました。

講師の先生からは、次のような講評をいただきました。

- 曲の出だしは、みんなの気持ちが一つになって歌い出せました。
- ユニゾンは力強くのびのびと歌えました。
- ソプラノのパートの高音の発声はとてもよく響いていて素晴らしいです。
- 会場に美しいハーモニーが響き渡りました。
- 管楽器も良いアクセントになりました。
- 態度面も立派でした。 (いただいた講評から抜粋)

【参加した児童の感想から、抜粋】

- 他の学校の人たちもいて、とても緊張しました。歌い始めたら緊張していたのが解けました。
- 足が震えてしまいましたが、とてもいい経験になりました。
- 中学校の演奏が心に残りました。中学校に入ったら吹奏楽部に入ってみようかと思いました。きれいな音を出していて、あこがれました。
- 楽器を吹きながら踊っていて、すごいと思いました。
- 家の人にも聞いてもらえて嬉しかったです。
- 中学生の歌に感動して、泣きそうでした。
- 今までの練習を思い出して、笑顔で歌うことができました。

経験したことは、大きな成長に繋がります。5年生の中には、来年も歌ってみたいという感想も多くありました。

11月には木小フェスティバルで発表したり、木間ヶ瀬公民館祭りに有志メンバーで参加したり、さらに12月の150周年記念式典でも発表する等、今後も子どもたちの歌声を披露する場が控えています。楽しみにしててください。